

第13回宇宙産業・科学技術基盤部会 議事要旨

1. 日時：平成28年2月16日（火） 16：00 - 18：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

山川部会長、松井部会長代理、青木委員、下村委員、中村委員、松尾委員、渡邊委員

(2) 政府側

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、松井宇宙戦略室参事官、行松宇宙戦略室参事官、高見宇宙戦略室参事官、末富宇宙戦略室参事官、守山宇宙戦略室参事官、奥野宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 平成29年度に向けて検討すべき課題について

資料1「平成29年度に向けて検討すべき課題」に基づき内閣府から説明を行った。

(2) 宇宙政策委員会の今後の検討体制について

資料2「今後の宇宙政策委員会の検討体制について」に基づき内閣府から説明を行った。

(3) 宇宙法制について

資料3～5に基づき青木宇宙法制小委員会座長代理から説明を行った。説明の後、以下のような意見等があった。(: 質問・意見等 : 回答)

人工衛星の管理について、強制保険を義務付けないのか。

ロケットの打ち上げについては強制保険を義務付けて政府補償を行う。人工衛星の管理については強制保険の義務付けはないが政府補償を行わない。

人工衛星の製造や管理を行う者は、人工衛星等の打ち上げに係る許可を取得しなくてよいのか。

取得しなくてよい。

(4) 国際有人宇宙探査について

資料6、7に基づき文部科学省から説明を行った。説明の後、以下のような意見等があった。(: 質問・意見等 : 回答)

各国の宇宙機関が協力して検討を進めている「宇宙探査ロードマップ」について、我が国はどのように関わっているのか。

JAXAが技術的な検討に加わっているが、このロードマップは宇宙機関レベルのものであり、non-bindingなものである。

国際宇宙探査フォーラム(ISEF : International Space Exploration Forum) と国際宇宙ステーション(ISS : International Space Station) の運用延長への参加

は、何か関係があるのか。

両者は関係しており、ISS 運用延長への参加を決定したという状況も含めて、ISEF の対応について考える必要がある。

国際宇宙探査協働グループ (ISECG : International Space Exploration Coordination Group) に、技術者として JAXA が議論に参加していることにより、ISECG の方針が我が国としての方針であるとの誤解を与えないようにすべき。

ISECG における議論、文部科学省「国際宇宙ステーション・国際宇宙探査小委員会」における議論、宇宙政策委員会における議論の全体を整理して、検討を進める必要がある。

以 上